

1	チームでの反省 ・学習カードに自己の反省と今後の課題を記入しながら、チームでの課題や目標を共有する。	知① 学習カード
	2 整列・振り返り ・本時の学習課題にフィードバックできるように導く	
3	総括課題	知② 学習カード
4	練習課題・発歩・解散	
3	〔学習課題〕 バス・ドリブルを用いて、シュートを行う。	知③ 学習カード
	〔発歩〕 バスやドリブルの動作を習得しながら、シュートが打てるようになる。 〔解説〕 バスケットボールはバスやドリブルを使い向きながらシュートを行うスポーツである。バス、ドリブルのボール操作を身に付けさせたい。	
○主な学習活動		
1	リアクティブバス	知④ 学習カード
2	オールコートツーマンバス	
3	ドリブルのまげん	
4	ポイントエリアドリブルカット・・・◆2	
5	ドリブル鬼ごっこ	
6	フリースローライン（ハイポスト）からバス→レイアップシュート	
7	フリースローライン（ハイポスト）からワンドリブル→レイアップシュート	

主体的な学習に取り組めるよう、自身の学びや変容を自覚できるよう、学習カードの記入や振り返りの場面を設定。
本時の学習課題にフィードバックできるように導くことも明記。
（例えば、ラリーが長く続くことについて学習課題を設定しているのに、三段攻撃のスパイクについてのみ振り返っているチームや生徒がいる際は、本来の学習課題に気づけるよう導きましょう。）

具体的な練習方法やポイントについては、「4 指導の工夫」の◆番号で解説。

5	〔ねらい2〕 バスケットボールの動きを身に付け、ミニゲームに生かすことができる。	技② 観察・学習カード
	〔学習課題〕 3on2を攻めるにはどのように動いたら良いか考えよう。	
〔発歩〕 3on2を攻めるにはどのように動いたら良いだろう。 〔解説〕 前時で学んだ3on1の攻め方を生かして、味方の人数が増えた場合の判断力を身に付けさせたい。		
○主な学習活動		
1	チーム練習（15分） ・練習した内容からドリブル・バス・シュート・1on1・2on1の練習をチーム毎に考えて行う。	技③ 観察
2	ドリフティングバス	
3	ポイントエリアで3on2①②・・・◆4	
6	〔学習課題〕 3on3・4on4のミニゲームをしよう。	技④ 観察
	〔発歩〕 バスをつないで得点に繋げるためにはどのように動いたら良いだろうか 〔解説〕 バスゲームを行い、スペースを見つけ動き、バスをつないで得点に繋がるようにしたい。	
○主な学習活動		
1	チーム練習（15分） ・練習した内容からドリブル・バス・シュート・1on1・2on1・3on2の練習をチーム毎に考えて行う。	知⑤ 観察
2	3on3パッシングゲーム・・・◆5	
3	4on4パッシングゲーム ・2と同じや3方で人数を増やす。	

評価の機会は、その時間に重点化（その時間に定めた評価については、全ての生徒を見取る）するものを記載しています。
ただし、指導から一定の期間が必要な評価規準は（「技能」、「主体的に学習に取り組む態度」）、指導してから評価する機会まで、期間が開いているので、御注意ください。
【例：3時間目にシュートの指導を行い、技能が身に付くまで一定の期間が必要なことから、5時間目に評価をする。】
★詳しくは、学校体育要覧で確認しましょう。

対話的な学びとなる場面を多く設定。
深い学びとなるように、教師が教える場面と生徒自らが考え実践する場面を意図的に組み合わせ、だんだんと生徒自らの活動が増えるよう工夫。